



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岡本 利治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-7811

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,468	37.9	3,393		3,649		3,489	
2020年3月期第3四半期	34,594	0.4	2,995	7.7	2,835	5.7	1,829	1.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,463百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 1,838百万円 ( 1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	198.03	
2020年3月期第3四半期	112.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,434	15,213	32.8
2020年3月期	39,765	16,092	40.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,213百万円 2020年3月期 16,092百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		17.00		9.00	26.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	29.0	4,000		4,500		4,500		250.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	21,379,000 株	2020年3月期	21,379,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,490,706 株	2020年3月期	5,094,206 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	17,619,680 株	2020年3月期3Q	16,283,017 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)において、当社は、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)拡大防止のため、政府が発出した緊急事態宣言による自治体からの休業要請にともない、4月8日以降、順次、介護リハビリ施設を除くすべての施設を休業しました。6月より営業を再開しましたが、本感染症の影響により入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等が続き、売上高は214億68百万円(前年同期比37.9%減)となりました。また、売上高の減少により、営業損失は33億93百万円(前年同期営業利益29億95百万円)、経常損失は36億49百万円(前年同期経常利益28億35百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は34億89百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益18億29百万円)となりました。当第3四半期連結会計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)においては、売上高は89億21百万円、営業損失は4億77百万円、経常損失は5億83百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億23百万円となっております。なお、4月及び5月の休業期間中に発生した固定費等を特別損失に、休業に伴い受給した雇用調整助成金を特別利益に計上しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、感染拡大防止対策と経済活動の両輪を回す取り組みに舵を切ったことにより、期間後半では景気持ち直しの動きが見られましたが、11月以降感染拡大の第3波が本格化するなど、依然として先行きは不透明な状況にあります。

フィットネス業界においては、業界ガイドラインに沿った感染防止対策を徹底した施設運営により、感染リスクは減少しており、業界ガイドラインを遵守するフィットネスクラブからのクラスター発生事例も報告されておりません。一方、長引く外出自粛及びテレワークの普及等により、健康二次被害が懸念されており、運動の重要性は一層高まっています。

当社は、スポーツクラブ事業において、施設における感染防止対策を継続しながら販促活動を本格化し、第3四半期会計期間においては新規入会者数が前年に近い水準で推移し、退会者数が前年を下回るなど業績の回復傾向が見られました。特にスクール部門における回復傾向が顕著であることから、新たな取り組みとして「スクールコーポレート会員」を導入し、企業・健康保険組合の加入者に向けて、スイミングスクールをはじめとした各種スクール会員のご案内を開始しました。しかしながら、年間で最も新規入会者数の多い第1四半期の臨時休業により、入会者数の減少が大きく影響したことで、当第3四半期連結累計期間末のスポーツクラブの総在籍会員数は333,389名(前年同期比19.8%減)となりました。引き続きスポーツクラブにおける付加価値の追求ならびに、収益構造を見直し損益分岐点を引き下げる取り組みを推進してまいります。

介護リハビリ事業においては、緊急事態宣言下においても自治体からの要請により、「元氣ジム」は営業を継続し、第3四半期会計期間の利用者数は前年度並みの水準で推移しました。また、11月には新たに全施設で口腔機能向上加算を取得するなど、収益性の向上に取り組んでおります。全施設に理学療法士が常駐する特徴を活かし、高齢者及び要介護認定を受けた利用者の機能回復・向上を目指して、引き続き本事業に力を入れて取り組んでまいります。

健康ソリューション事業においては、第2四半期よりスタートした、“オンライン健康づくりプログラム”を多くの企業・健康保険組合及び自治体に提供しました。長引く本感染症の影響による免疫力や体力の低下・生活習慣病等発症リスクなどの健康二次被害防止に、オンラインを活用した運動指導を役立てていただい

おります。

また、地方創生の取り組みでは、12月に北海道小清水町と「未来につながるまちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。当社が持つノウハウとコンテンツを活用し、小清水町防災拠点型複合庁舎において賑わいのある空間の創出を支援してまいります。

さらに、「健康寿命の延伸」ならびに「健康で豊かに楽しむことのできる社会」の実現を目的とし、SOMPOホールディングス株式会社と業務提携契約を締結しました。今後両社の強みやノウハウを活かし、より多くの方に健康づくりのサポートを行ってまいります。

当第3四半期会計期間においては、『リアルとオンラインの融合』をコンセプトに、ライブレッスンとオンラインレッスンを展開する施設として、「ドゥミ ルネサンス ライブストリームスタジオ 池袋東口店」をリニューアルオープンしました。また、「フィットネススタジオ ルネサンス 五反田」は、『静と動』をコンセプトに、ヨガやピラティスなどのレッスンと、映像プログラム「THE TRIP™」や「BODYPUMP™」など、Les Mills（レズミルズ）の人気プログラムを展開する施設としてオープンしております。今後も環境の変化に応じた新たな業態の可能性を積極的に検討してまいります。

当第3四半期会計期間における出店及び業態変更は下表の通りです。

出店年月	施設名（新規出店）	施設形態
2020年10月	ジム&スタジオ ルネサンス 登戸（神奈川県川崎市）	スポーツクラブ（新業態）
リニューアル年月	施設名（業態転換）	施設形態
2020年10月	ドゥミ ルネサンス ライブストリームスタジオ 池袋東口店（東京都豊島区）	スタジオ業態（新業態）
2020年11月	フィットネススタジオ ルネサンス 五反田（東京都品川区）	スタジオ業態（新業態）

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末の国内施設数は、スポーツクラブ135施設（直営102施設、業務受託33施設）、スタジオ業態5施設、リハビリ施設31施設（直営25施設、フランチャイズ6施設）の計171施設となりました。

なお、1月5日に、神奈川県川崎市に「スポーツクラブ ルネサンス 五月台24」を新規出店しております。当施設では、株式会社OKULABとの事業提携を通じ、当社初となるカフェランドリーを併設し、お客様の利便性、快適度の向上ならびに地域コミュニティの場として活用いただける施設を目指してまいります。

業績の回復と今後の成長に向けた新たな取り組みにおいては、6月よりスタートしたオンラインレッスンサービス「ルネサンス オンライン Livestream」を10月にリニューアルし、お客様が受講できるレッスン本数を週30本から週240本に増やすとともに、予約操作のしやすいシステムに改善しました。12月にはライブ配信に加え、オンデマンドでのビデオレッスンの配信を開始し、受講可能時間を拡大するなど、商品の魅力度の向上に取り組んでおります。公式オンラインショップにおいては、10月よりオリジナルホエイプロテインの販売を開始しました。今後は、オンラインレッスンで使用する運動ツールや、ホームフィットネス用のウェイトトレーニングマシンの販売を予定しており、引き続きご自宅でも健康づくりをお楽しみいただける商品ラインナップの充実を図ってまいります。

第4四半期以降につきましては、スポーツクラブにおける新たな取り組みとして、当社が協力しソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社が開発した「スマートスイミングレッスン」を導入します。「スマートテニスレッスン」に続き、映像を活用した最新の技術で泳ぎを可視化することにより、スイミングスクールのお子様の泳力の向上が期待できます。

さらに、2月3日に、アウトドアフィットネス事業を展開する株式会社 BEACH TOWN の株式の過半数取得について合意したことを公表しました。コロナ禍であっても屋外や開放的な施設で行うアウトドアフィットネス事業はさらなる拡大が期待でき、当社の企業価値の向上に資すると考えております。

引き続き、リアルとオンラインを組み合わせ、より多くの方に健康で快適なライフスタイルを提案するとともに、新たな事業領域の拡大にもチャレンジし、業績の回復に努めてまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### イ. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ66億68百万円増加し、464億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が28億91百万円増加したこと、及びリース資産、繰延税金資産が増加したこと等により固定資産合計が37億77百万円増加したことによるものです。

#### ロ. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ75億47百万円増加し、312億20百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が14億93百万円増加し、また、長期借入金、リース債務が増加したこと等により固定負債合計が60億54百万円増加したことによるものです。

#### ハ. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億79百万円減少し、152億13百万円となりました。これは主に、第三者割当による自己株式の処分により資本剰余金が1億2百万円増加したことに加え、自己株式が26億28百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失34億89百万円を計上したこと、配当金1億46百万円を支払ったことにより利益剰余金が36億35百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本資料の公開時点において、2020年10月28日公表の通期連結業績予想に修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,180,812	8,693,287
売掛金	1,062,577	922,743
商品	258,280	307,878
その他	1,524,582	1,993,940
貸倒引当金	△5,939	△5,776
流動資産合計	9,020,313	11,912,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,442,313	8,352,395
リース資産 (純額)	6,988,265	9,534,058
その他 (純額)	3,495,460	2,910,278
有形固定資産合計	18,926,039	20,796,731
無形固定資産	1,025,103	964,050
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,389,351	8,707,816
その他	2,404,736	4,053,672
投資その他の資産合計	10,794,088	12,761,489
固定資産合計	30,745,230	34,522,271
資産合計	39,765,544	46,434,343
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	64,890	32,934
短期借入金	3,840,000	6,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,000	2,160,000
未払法人税等	534,264	78,021
賞与引当金	855,400	126,897
資産除去債務	65,171	—
その他	4,809,644	3,675,183
流動負債合計	11,479,371	12,973,036
固定負債		
長期借入金	2,250,000	5,450,000
リース債務	7,345,880	9,779,434
退職給付に係る負債	766,474	801,378
資産除去債務	971,744	1,122,467
その他	859,287	1,094,399
固定負債合計	12,193,387	18,247,680
負債合計	23,672,758	31,220,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,711,080	4,813,515
利益剰余金	14,350,359	10,714,599
自己株式	△5,143,390	△2,514,753
株主資本合計	16,128,429	15,223,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,496	4,457
為替換算調整勘定	15,217	29,830
退職給付に係る調整累計額	△53,358	△44,400
その他の包括利益累計額合計	△35,644	△10,113
純資産合計	16,092,785	15,213,627
負債純資産合計	39,765,544	46,434,343



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	34,594,916	21,468,145
売上原価	29,659,671	23,151,400
売上総利益又は売上総損失 (△)	4,935,245	△1,683,255
販売費及び一般管理費	1,939,570	1,710,652
営業利益又は営業損失 (△)	2,995,674	△3,393,908
営業外収益		
受取利息	10,906	9,156
助成金収入	—	12,120
その他	45,205	45,308
営業外収益合計	56,111	66,584
営業外費用		
支払利息	184,112	231,536
その他	32,054	90,688
営業外費用合計	216,166	322,224
経常利益又は経常損失 (△)	2,835,619	△3,649,548
特別利益		
固定資産売却益	268	—
雇用調整助成金	—	671,614
特別利益合計	268	671,614
特別損失		
固定資産除却損	22,326	2,743
店舗閉鎖損失	23,000	2,110
店舗休止損失	—	1,921,679
その他	245	239
特別損失合計	45,571	1,926,772
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2,790,316	△4,904,706
法人税、住民税及び事業税	747,707	67,856
法人税等調整額	212,975	△1,483,366
法人税等合計	960,682	△1,415,509
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,829,633	△3,489,197
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	1,829,633	△3,489,197

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,829,633	△3,489,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△383	1,960
為替換算調整勘定	2,178	14,612
退職給付に係る調整額	6,902	8,957
その他の包括利益合計	8,697	25,530
四半期包括利益	1,838,331	△3,463,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,838,331	△3,463,666
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月28日の取締役会決議に基づき、2020年8月13日付でS O M P Oホールディングス株式会社及び住友生命保険相互会社を引受先とした第三者割当による自己株式2,603,500株の処分を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において資本剰余金が102,434千円増加、自己株式が2,628,636千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,813,515千円、自己株式が△2,514,753千円となっております。

(追加情報)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年3月にスタジオプログラム等を休止し、2020年4月から緊急事態宣言を受けた地方自治体からの休業要請により、当社施設は、元氣ジム等のリハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。

緊急事態宣言が解除されたことに伴い、6月よりスポーツクラブ等の施設の営業を再開しておりますが、2021年1月に再び発出された緊急事態宣言を受けて、対象地域の施設の営業時間を20時までに制限したことにより、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等が生じ、業績に影響を受けております。

本感染症の収束後を含む今後の業績については、外出自粛による健康二次被害防止に向けた動きや、東京オリンピックの開催といった運動に対する意識が高まることに加え、コロナ禍に対応した非対面のサービス事業の拡大が進むこと、さらには2月以降に日本全国においてワクチンの接種開始が予定されていることから、2021年6月までに感染拡大の前の状況に近づくことと予測しています。

なお、当社は、固定資産の減損等の会計上の見積りについて、上述した予測をもとに算定しておりますが、当該予測は不確実性が高く、今後の本感染症の影響が長期化した場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。